



山形県感染症発生動向調査

山形県感染症情報センター(山形県衛生研究所)

TEL.023-627-1109, FAX023-641-7486

URL <http://www.eiken.yamagata.yamagata.jp/>

平成28年第52週(平成28年12月26日～平成29年1月1日)

2017年1月6日 発行

<定点把握感染症>

※表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数

※定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少 ※ :警報レベル :注意報レベル

疾患名	全国	山形県			村山地区			最上地区			置賜地区			庄内地区			累積(県)
	第50週	第51週	第52週	増減	第51週	第52週	増減	第51週	第52週	増減	第51週	第52週	増減	第51週	第52週	増減	
インフルエンザ定点 (定点医療機関数)		(47)			(20)			(5)			(9)			(13)			
インフルエンザ	24857 5.02	281 5.85	269 5.72	▼	141 7.05	149 7.45	▲	11 2.20	13 2.60	▲	97 9.70	60 6.67	▼	32 2.46	47 3.62	▲	14887
小児科定点 (定点医療機関数)		(30)			(13)			(3)			(6)			(8)			
RSウイルス感染症	2507 0.79	21 0.70	9 0.30	▼	8 0.62	2 0.15	▼				12 2.00	7 1.17	▼	1 0.13			1606
咽頭結膜熱	1616 0.51	18 0.60	17 0.57	▼	13 1.00	13 1.00					5 0.83	4 0.67	▼				754
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	8595 2.72	231 7.70	119 3.97	▼	128 9.85	66 5.08	▼	2 0.67	1 0.33	▼	49 8.17	22 3.67	▼	52 6.50	30 3.75	▼	7624
感染性胃腸炎	66015 20.89	996 33.20	421 14.03	▼	387 29.77	126 9.69	▼	37 12.33	22 7.33	▼	281 46.83	130 21.67	▼	291 36.38	143 17.88	▼	13884
水痘	2047 0.65	27 0.90	19 0.63	▼	12 0.92	11 0.85	▼	1 0.33	2 0.67	△	3 0.50	2 0.33	▼	11 1.38	4 0.50	▼	638
手足口病	1371 0.43	1 0.03	4 0.13	△	1 0.08	4 0.31	△										403
伝染性紅斑	420 0.13	2 0.07	2 0.07		1 0.08	1 0.08					1 0.17	1 0.17					1468
突発性発しん	1250 0.4	17 0.57	12 0.40	▼	5 0.38	1 0.08	▼		3 1.00	△	9 1.50	4 0.67	▼	3 0.38	4 0.50	△	974
百日咳	35 0.01		1 0.03	△		1 0.08	△										21
ヘルパンギーナ	271 0.09	2 0.07	1 0.03	▼	2 0.15		▼								1 0.13	△	2941
流行性耳下腺炎	3056 0.97	47 1.57	40 1.33	▼	17 1.31	13 1.00	▼	6 2.00		▼	24 4.00	26 4.33	▲		1 0.13	△	3030
眼科定点 (定点医療機関数)		(8)			(4)			(1)			(1)			(2)			
急性出血性結膜炎	10 0.01																1
流行性角結膜炎	495 0.71	3 0.38		▼										3 1.50		▼	69
基幹定点 (定点医療機関数)		(10)			(4)			(1)			(2)			(3)			
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	26 0.06																20
クラミジア肺炎	9 0.02																4
マイコプラズマ肺炎	477 1.01	13 1.30	7 0.70	▼	6 1.50	5 1.25	▼	1 1.00		▼				6 2.00	2 0.67	▼	191
細菌性髄膜炎	2 0																7
無菌性髄膜炎	24 0.05																13

<全数把握感染症>

疾患名	類型	報告数				備考
		村山	最上	置賜	庄内	
結核	無症状病原体保有者	1				
カルバペネム耐性腸内細菌感染症	患者			1		

<通信欄>

◎年末年始に伴う医療機関の休診のため、全体的に報告数が少なくなっています。

◎全国は第50週が最新の報告になっています。

※定点把握感染症のグラフ・全数把握感染症の年間累積数については別紙(グラフページ)をご覧ください。

＜定点把握感染症 報告患者数 年齢別＞

インフルエンザ定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	
インフルエンザ		5	7	13	15	10	8	9	14	12	9	53	19	14	合計
	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79	80歳～									合計
	13	19	20	13	5	11									269
小児科定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～	合計
RSウイルス感染症		4	1		1	1		1					1		9
咽頭結膜熱		1	5	1	3	4	2						1		17
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		3	4	7	15	13	16	12	10	11	5	19		4	119
感染性胃腸炎	2	11	29	40	33	62	46	29	26	34	20	60	8	21	421
水痘	1		3	1	1		3	4	2	1	1	2			19
手足口病			1	1	2										4
伝染性紅斑		1											1		2
突発性発しん		6	6												12
百日咳				1											1
ヘルパンギーナ			1												1
流行性耳下腺炎			3	3	1	10	8	8		3	3	1			40

＜平成28年11月 月報＞

2016年12月20日 更新

疾患名	山形県		村山地区		最上地区		置賜地区		庄内地区		累積(県) 1～11月	
	10月	11月	10月	11月	10月	11月	10月	11月	10月	11月		
STD定点 (定点医療機関数)	(10)		(4)		(1)		(2)		(3)			
性器クラミジア感染症	報告数	24	23	11	10	10	8	2	2	1	3	214
	定点当り	2.40	2.30	2.75	2.50	10.00	8.00	1.00	1.00	0.33	1.00	
性器ヘルペスウイルス感染症	報告数	9	6	3	2	1	1	4	3	1		68
	定点当り	0.90	0.60	0.75	0.50	1.00	1.00	2.00	1.50	0.33		
尖圭コンジローマ	報告数	3	1	1				1		1	1	30
	定点当り	0.30	0.10	0.25				0.50		0.33	0.33	
淋菌感染症	報告数	4	3	1				1	1	2	2	25
	定点当り	0.40	0.30	0.25				0.50	0.50	0.67	0.67	
基幹定点 (定点医療機関数)	(10)		(4)		(1)		(2)		(3)			
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告数	4	9		3	2	2			2	4	64
	定点当り	0.40	0.90		0.75	2.00	2.00			0.67	1.33	
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	報告数	22	18	11	7	1	3	1	1	9	7	191
	定点当り	2.20	1.80	2.75	1.75	1.00	3.00	0.50	0.50	3.00	2.33	
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告数											
	定点当り											

＜トピックス＞

【インフルエンザ情報】

1 定点医療機関情報(第52週)

迅速診断キットによるインフルエンザウイルスの陽性件数

村山地区:A型 145件、不明 4件

最上地区:A型 13件

置賜地区:A型 60件

庄内地区:A型 45件、不明 2件

2 インフルエンザウイルス分離状況(衛生研究所 12月28日現在)

今シーズン、県内では、AH1pdm2009型 7株、A香港型 12株が分離されています。

3 集団発生状況(県健康福祉企画課まとめ 第52週)

置賜地区:社会福祉施設 1件

庄内地区:社会福祉施設 1件

インフルエンザは、毎年、冬に流行し、私たちの健康に大きな影響を及ぼす代表的な呼吸器感染症です。感染力が強く、いったん流行が始まると短期間に多くの人へ感染が拡大します。

手洗いでインフルエンザを予防し、かかったら、マスク等咳エチケットを心がけましょう。

こまめな手洗いとマスク着用を心がけ、体調管理に努めましょう。「かかったかな」と思ったら、早めに医療機関を受診しましょう。



【感染性胃腸炎情報】

定点当たり報告数は、県平均では14.0人、地区別では

置賜地区は21.7人、庄内地区は17.9人となり、

県全体と置賜、庄内で引き続き警報レベルとなっています。

【警報開始基準値:20人 警報終息基準値:12人】

感染性胃腸炎とは

感染性胃腸炎は、冬季に患者数が増加し、その大半はウイルス感染によるものと推測される感染症です。また、年末の集団発生例の多くは、ノロウイルスによるものと考えられています。

【症状】病原体によって異なりますが、主な症状は嘔吐、下痢、発熱です。

治療は、ウイルス性のものであれば対症療法が中心となります。

【予防法】最も重要で、効果的な予防法は「流水・石けんによる手洗い」です。

トイレ後、外出後、調理前、配膳前、食事前など、こまめに手洗いをしましょう。

特にノロウイルスは感染力が強く、注意が必要です。

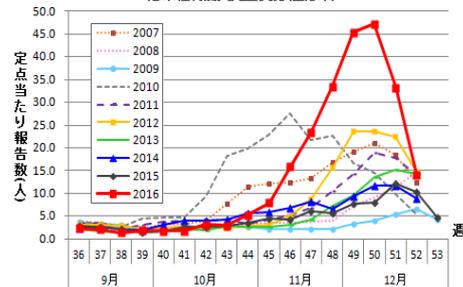
二枚貝を調理する際は中心

部まで十分に加熱し、使用した器具は熱湯消毒しましょう。

嘔吐物や下痢便にはノロウイルスが大量に含まれています。処理する際は、マスク・手袋を着用してください。

消毒は塩素系消毒剤で行う必要があります。消毒に家庭用漂白剤を使用する場合は、200倍程度に薄めて使用して下さい。

感染性胃腸炎発生状況(山形県)



※参考URL:IDWR 2012年第43号＜注目すべき感染症＞感染性胃腸炎
http://www.nih.go.jp/niid/ja/intestinal-m/intestinal-idwrc/2923-idwrc-1243.html